



岐阜米穀(株) メールマガジン

今回のテーマは

「お米を全国の生産者から直接買って販売しませんか」

スタートはクラウドファンディング農家支援で、玄米を持っている多くの生産者から買えます。

「家庭用・中型業務用精米機でお米の流通を変化させたい」プロジェクトです。

令和の米騒動でお米が不足で値上がりして、新米になったら在庫があるのに値下がりしない。

長年お米の中心にいた我が社。そこでしか分からない問題を知識と業界慣習を添えながら、分かり易く実行できるように進める計画をまいります。

地球温暖化で作物に与える影響が大きくなってきている今こそ、日本人の主食であるお米において、作る人・食べる人が直接の繋がりをしっかり保持することがこれからは大切になってきます。

備蓄米放出で判明した、農家ブランドの流通で障害は「精米」だったのです。

生産者の方々の多くは『直接消費者に、納得できる価格で、玄米で届けたい』という想いを持ってみえます。消費者の皆さんも『新鮮で美味しい安心できるお米を、農家から買いたい』と考えています。しかし、この間をつなぐ仕組みがないために、双方の願いの多くが実現できないのです。それを解決に必要なのが精米機です。

精米機だけでなく、玄米販売の仕組みの提案です。生産者と消費者に双方を考えられた「お米選びに工夫がある」お米を理解し易くを目的とした仕組みなのです。

同じ品種でもその土地や田んぼ、栽培体系によって味・風味は違います。生産者のお米を消費者の方に分かり易く理解できるようにしてあります。

今回の取り組みはこれから存続が難しい中山間地栽培米が流通できる仕組みです。中山間地の水は冷たく暑熱化に有利です。そんな特徴と農家の努力を記載していきます。

第二弾として、スーパーマーケットでのお米販売の混乱がみられ、古米・備蓄米をブランド米が多い中で美味しくて納得のいく価格での品揃えができる仕組みを提案していきます。

暑熱化が進み世界的に食料生産が不足し始めていますので、食糧保険として信頼感がとて

も大切になっていくのではないのでしょうか。

~~~~~  
岐阜米穀株式会社から 農業の展示会のご案内です

フードメッセ in にいがた2025  
2025年11月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00(最終日:16:00まで)  
農業の6次化フェア (ブースNo.L-32)

出展者は岐阜米穀(株)関連会社農業法人アグリツーリズム岐阜

会場では担当者がご説明をさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

資料請求及びお問い合わせ先は、[info@beikoku.jp](mailto:info@beikoku.jp)

~~~~~